

新嵐山スカイパーク自分ごと化会議

からの提案素案（案）

新嵐山スカイパーク自分ごと化会議

令和5年3月31日

< 目 次 >

はじめに.....	- 1 -
1. 新嵐山スカイパーク自分ごと化会議の概要.....	- 2 -
3. 付録：アンケート結果.....	- 13 -
第1回新嵐山スカイパーク自分ごと化会議参加者アンケート結果.....	- 13 -
第2回新嵐山スカイパーク自分ごと化会議参加者アンケート結果.....	- 17 -
第3回新嵐山スカイパーク自分ごと化会議参加者アンケート結果.....	- 20 -
(以下参考資料).....	- 23 -

はじめに

令和5年3月31日

新嵐山スカイパーク自分ごと化会議委員一同

1. 新嵐山スカイパーク自分ごと化会議の概要

会議の概要

2022年12月から、“新嵐山活用計画の見直し”をテーマに、無作為に選ばれた住民による議論を行いました。

○ 委員

無作為に抽出し協議会委員の案内を送付した数	2000件
応募した委員（応募率）	46名（2.3%）

○ 委員一覧

No.	班	氏名
1	○班	○○ ○○
2	○班	○○ ○○
3	○班	○○ ○○
イメージ		
6	○班	○○ ○○
7	○班	○○ ○○
8	○班	○○ ○○
9	○班	○○ ○○
10	○班	○○ ○○
11	○班	○○ ○○
12	○班	○○ ○○
13	○班	○○ ○○
14	○班	○○ ○○
15	○班	○○ ○○

○テーマ及び各回の議論

テーマ：「新嵐山活用計画について」

各回の議論

- ・第1回会議：2022年12月18日（日）
 - 住民協議会の概要説明（構想日本）
 - テーマに関する説明（魅力創造課）
 - 委員の自己紹介など
- ・第2回会議：2023年1月9日（月・祝）
 - テーマについてグループに分かれて協議
 - 「改善提案シート」の記入 など
- ・第3回会議：2023年2月5日（日）
 - ナビゲーターの参加
 - テーマについてグループに分かれて協議
 - 「改善提案シートの中間とりまとめ」について全体で協議
 - 「改善提案シート」の記入 など
- ・第4回会議：2023年3月4日（土）
 - 「提案書(案)」について全体で議論
 - 「意見提出シート」の記入 など

2. 新嵐山スカイパーク活用計画に対する提案書

以下の4つの提案は、令和4年度新嵐山スカイパーク自分ごと化会議の第2回会議、第3回会議で委員が記載した「改善提案シート」及び各回の協議内容を踏まえて取りまとめました。

改善提案の項目

提案

1. 新嵐山スカイパークのコンセプトとメインターゲットを明確にする。さらに、住民が運営側に回る仕掛けをつくる。

提案

2. 利用目的の多様化を進めることで、町内・町外ともに利用者を増やす。

提案

3. 新嵐山を中心とした芽室町の魅力を再発見し、新嵐山の資源や良さをさらに活かす。

提案

4. 高付加価値化などそれぞれの機能の見直しをさらに進め（特に宿舎機能）、スカイパークをさらに稼げる事業として事業の継続性を高める。

提案

5. 新嵐山の変化(リニューアル)についての前向きな情報発信を行ったり、住民と行政が定期的に話し合う場を設けたりなど、新嵐山の存在の伝え方を工夫し、情報発信を強化する。

提案

1. 新嵐山スカイパークのコンセプトとメインターゲットを明確にする。さらに、住民が運営側に回る仕掛けをつくる。

新嵐山スカイパークの理念（コンセプト）や中心となるターゲットが今は不明確との議論が多く出た。4回の会議で結論が出たわけではないが、特に子どもの「楽しさ」の追求や、今ある要素を掛け合わせることで他との圧倒的な差別化を図るなど様々なアイデアが出た。それらを参考に、いま一度しっかりと練り上げることが重要である。その際、いかに住民が運営側に回るか（当事者として関わってもらうか）は、成功のカギとなるので、その仕掛けも考えていく。

「提案1」の実現に向けて、それぞれが行うこと

私たち

- ① 周りの人の意見も聞きながら、自分なりに一番のターゲットについて考える。
- ② コンセプトは時とともに変遷し、異なる事業を断続的に行う必要があるので、個人として新嵐山のコンセプトを定期的に考え直す必要がある。

町民

- ① 地域の中で話し合いをする。

地域

- ② コンセプトが明確になったら、そのコンセプトに企業や飲食店は乗っかってタイアップする。

行政

- ① さらに議論を進めて、対象を明確にする。
- ② ターゲットを明確にしてからさらなる改善を行う。
- ③ 戦略策定プロセスを明確にする。
- ④ 特に宿泊施設のコンセプトが不明確なので、全体のコンセプトに合わせていく。
- ⑤ 地域や住民から定期的にコンセプトを聞く。
- ⑥ 例えば「日本一寒いスキー場×サウナ」のようなコンセプトを検討する。

《その他の意見》

- ① 新嵐山は町民主体の場所、施設であるべき。（外向きの観光には向かない）
- ② 学校や保育所が利用しやすい環境を作ることが、将来を見据えた持続可能な町民利用につながるのでは。
- ③ 3世代や犬も楽しめる「敷居の低さ」売りにできないか。

2. 利用目的の多様化を進めることで、町内・町外ともに利用者を増やす。

提案1を明確にするとともに、これまでの中心的な利用目的だった「観光」と「地域レクリエーション」に留まらず、さらなる多様化を進めることが重要である。仕事やワーケーション、学校行事や部活などの活用が考えられる。それらによって、町民も町外の人、誰もがスカイパークに魅力と利用するための必然性を感じられる環境をつくる。

「提案2」の実現に向けて、それぞれが行うこと

私たち
町民

- ① 出張やお客様に案内できる宿泊所として紹介する。
- ② 子どものための絵本やマンガ本等の寄付。
- ③ 子どもが楽しめるアクティビティを考える。子どもの見守りをする。
- ④ 公共交通が不十分のため、ボランティアとして観光客の送迎などを行う。

地域

- ① 住民への利用を推進する。
- ② 高齢者団体や産業団体等、町内の団体で利用する。
- ③ グリーンシーズンに学生が集える場所づくり（遠征時の宿泊場所として）。
- ④ 子どもが楽しめるよう、ボランティアで指導員を行う。

行政

- ① 宿泊施設に関して、人間工学的な観点からの快適性を提供できる施設にして、ワーケーション等観光+a視点でのアプローチで利用客を増やす。
- ② 近年道外からの遠征も多いことから、部活での活用について学校関係へのPRをする。
- ③ 試験的な期間を設定する。新規の体験授業(屋外炊飯/キャンプ研修)や町民・企業向けへのPR(新嵐山のリソース、芽室の普遍的な魅力発掘)。
- ④ 小中学校が使いやすいよう、手間をかけず、使う時に補助をする。
- ⑤ サービス券発行。バスなどの運行を増やしてお年寄りの足を確保する。
- ⑥ 冬に遊べる子ども遊具設置の検討。

《その他の意見》

- ① 人口が減り、価値観も多様化しているので昔のような人数を確保することは難しいのでは？

提案

3. 新嵐山を中心とした芽室町の魅力を再発見し、新嵐山の資源や良さをさらに活かす。

新嵐山スカイパークの町外利用者の満足度はとても高いことがアンケート結果などからわかっている。外部の視点も取り入れて、外の人にとっての価値を町民が気付くことが重要である。スキー場や展望台、ドッグラン、グランピングなど新嵐山スカイパークに今ある様々な資源をこれまで以上に活用し、その良さを追求していく。

「提案3」の実現に向けて、それぞれが行うこと

私たち 町民

- ① 新嵐山に遊具ができたことを知らない人が多いので周知していく。
- ② 他の市町村の地元の盛り上げ方の例を調べる。
- ③ “知られざる名所”をどう洗い出すかの仕組みを考える。
- ④ まずは積極的に行って、自らが活用する。
- ⑤ 観光と町民をつなげるアイデアを出す。
- ⑥ 季節ごとに散策路・登山道を歩いて、どこに何があったらいいか提案する。(看板設置/植樹の提案など)

地域

- ① ボランティアグループによる子どもの見守り、預かりを行う。
- ② シニアの公園管理の方々に依頼をして花植えをしてみる。
- ③ 地域のイベント開催/参加。
- ④ 音更の道の駅の「舞い上がれ(NHK朝ドラ)」とのタイアップのような仕掛けを考える。

行政

- ① コロポックル伝説の可視化を検討する。
- ② 今の観光政策が他町村とあまり変わらないので、再度見直しを行う。
- ③ スキー場の教育としての機能の方向性も考える。
- ④ 新嵐山の自然を生かした昆虫館設置。(夜のクワガタ取りも多いはず)
- ⑤ 年に一度は色々な世代の人が集まれるお祭り、イベントの開催を検討する。
- ⑥ 展望台の活用策の検討(景色の良さをもっと活かす)。展望カフェの復活の検討。

《その他の意見》

- ① 孫たちが小川を大変気に入って、夜遅くまで遊んでいた。→もっと活用すべき。

- ② シマフクロウなど希少種の生物が生息していると思われる。(養老温泉のように売りにしているところもある)
- ③ 電化が進み火を見たことのない小学生が増えていると聞くが、新嵐山はキャンプで火をメインに扱うので、体験として火をアピールするのはどうか。
- ④ 周辺地域の公園化が必要ではないか。
- ⑤ ワイナリーも近くにあるので展望台でワインも飲めたら最高。
- ⑥ 何年か前にあった透明の中に子どもが入って遊べるものも復活してほしい。
- ⑦ 夏のキャンプ。汗をかくのでぬるめのお風呂に入りたい。自然を感じられる露天風呂がいい。

4. 高付加価値化などそれぞれの機能の見直しをさらに進め（特に宿舎機能）、スカイパークをさらに稼げる事業として事業の継続性を高める。

スキー場をはじめとしたスカイパークへの町民の愛着は強いという意見が多く出た。一方で、新型コロナの影響もあり、現在のスカイパークの経営状況は良いとは言えない。特に宿舎の収支は非常に悪い状況になっている。今のままの継続は不可能という意見が大半だったことを踏まえ、施設のリニューアルや多目的化など、早急に改善策を決める必要がある。他の機能についても、経営状況の分析をさらに精緻に行いながら常に見直しを進めることで、新嵐山スカイパークが将来にわたって持続可能な施設にしていく。

「提案4」の実現に向けて、それぞれが行うこと

私たち 町民

- ① 利用場面を拡大する（団体利用、風呂）。
- ② 自ら新嵐山へ行き、レストラン等利用し、美味しさ・長所を知る。
- ③ 個人で利用して、改善すべき点を行政に伝える。
- ④ ドッグランについて、犬のアクティビティの提案、仲間と利用・個人として利用する。

地域

- ① 自治会として利用する。
- ② 年一回（以上）の新嵐山の施設利用を推奨する。
- ③ 地域のイベント参加を推奨する。
- ④ 町で出る廃材を利用してのリサイクルなど、町民を巻き込んだ施設建設を検討する。

行政

- ① 目標利用人数を設定する(損益分岐点)。
- ② 町民の力で経営状況をよくするためのストーリーを提示する。
- ③ 宿舎と公園・キャンプ場の営業利益を増やす。部屋ごとの金額変更。
- ④ 町民が使いやすく、利用したくなることに予算を充てる。
- ⑤ 視界が良いなら子どもにも目が届くし休憩所としてカフェなどもあればよい。
- ⑥ 小学生によるレストランメニュー開発や農家レストランを検討する。
- ⑦ 例えば犬との宿泊やサイクリングなどできそうなことからまずやってみる。
- ⑧ 人口減少や政治経済の観点から利用料の見直しをする。
- ⑨ 町外を対象とし、特別な体験を売りに高単価で行う。またニーズの調査を行う。
- ⑩ 宿泊施設のリニューアルを行う（老朽化施設の改修）。

- ⑪ ゲレンデで夏に放牧しているイメージなどを展開して乳製品×野菜のメッカ的ブランド化を検討する。
- ⑫ 愛菜屋はもとより、地元の企業(明治乳業)と提携して収益性を考える。
- ⑬ 人気のドッグランの有料化のほか、ペット宿泊可能な宿舎の設置や犬用食事メニュー、トレーナー在駐の日の設置などを検討する。
- ⑭ グランピング強化・着替えや暖が取れたり、雨天でも利用できるようにする。
- ⑮ 利用者を増やすためのアイデアを募集する。
- ⑯ 噴水、温水プールの設置を検討する。
- ⑰ 多目的トイレの充実(男性トイレへのベビーベッド設置)
- ⑱ 経費がかかってもスキー場のリフトの更新やメンテナンスを行う。
- ⑲ 利用者数多いキャンプ場やドッグランをさらに改善する。
- ⑳ 利用料の適正化や新規事業の実施について指定管理者との協議を行う。

«その他の意見»

- ① 第三セクターにした意図/意味を住民にしっかり伝える。
- ② 利用者を増やすためのアイデア例
 - 物販コーナー、キッズランド、屋内で遊べるスペース、入浴施設等の充実
 - アウトドアブランドの招致(例：南富良野町のモンベルなど)
 - ドッグパーク構想：夏・冬、雨・雪でも利用可能にする。犬と一緒に食事や休むことが出来るようにする。(大型ビニールハウス設置)
 - RVパーク構想：日本RV協会の条件の駐車スペース(4m×7m程度)
 - 体験活動の充実：昼間は氷を使ったキャンドルを置き、夜は蝋燭を灯してゆったりと過ごせるようにする。
- ③ 温泉の掘削を再度行うことはできないか(温泉スパの設置など)。
- ④ 大人のレジャー施設としての存続は望まないが、宮ノ丘幼稚園の写真用に子どもの教育施設としてのスキー場維持には賛成。
- ⑤ リフトなど高額な維持管理には異を唱える。安全が保障される程度の最低限の維持管理で良いのではないか。
- ⑥ キャンプもせず犬も飼っていないと夏の新嵐山の楽しみ方がわからない。喫茶店でコーヒーを飲みながら本を読んだり資料を読みこんだりできることを新嵐山のレストランでやってみる。

- 新嵐山の変化(リニューアル)についての前向きな情報発信を行ったり、住民と行政が定期的に話し合う場を設けたりなど、新嵐山の存在の伝え方を工夫し、情報発信を強化する。

リニューアル後のスカイパークについて知らない人が多く、積極的かつ工夫をこらした情報発信を望む声が多く上がった。また、行政側からの一方的な発信だけでは町民全体の納得度の向上にはつながらないため、近隣の人を中心に町民とのコミュニケーションを密にしていくことが重要。さらに、口コミなど行政だけでなく町民みんなが発信者になるための仕掛けも考えていく。

「提案5」の実現に向けて、それぞれが行うこと

私たち 町民

- ① SNS等でPRする。
- ② 遠くに住む人(家族、親戚)を呼び込む。
- ③ ドッグランの良さを発信する。
- ④ 小児病院情報を発信する。
- ⑤ 子連れに配慮した啓発・行動指針を発信する。
- ⑥ 近所の人との雑談の中で新嵐山の話をする。
- ⑦ 町内の公衆浴場がなくなってしまうよう、新嵐山の風呂の利用を呼び掛ける。

地域

- ① 新嵐山のパンフレットを町内各所へ設置(例：駅)。
- ② SNS用QRコード等でPR(例：愛菜屋など集客があるところ)。
- ③ 地域として新嵐山スカイパークとどのように関わりを作り芽室町を盛り上げていけるかを話す場を設ける。
- ④ 様々な分野の人からの情報提供を地域で取りまとめる。

行政

- ① キャンプ利用客に新嵐山や町内の観光パンフレットを渡す。
- ② 風景をPRできる場面をつくる。
- ③ 食事がおいしいことをアピールする。
- ④ キャンペーンの実施(年一回は新嵐山にお金を使おうキャンペーン、新嵐山×飲食店タイアップなど)。
- ⑤ 今回のように偏らない老若男女のメンバーをランダムに集めた場を今後もつくり、新しいことを更新し続けられる新嵐山にしていく(もっと魅力ある新嵐山にしていきたいと

思っている町民は多いと思う)。

- ⑥ スキーのみならず、新嵐山の資源を最大限に活用できるようなイベント開催の検討。
- ⑦ ドッグランやグランピングなど、特徴ある機能の差別化した発信(他とは少しちがっていることをアピールする)。
- ⑧ 利用促進のため、浴場の利用券を発行する。
- ⑨ ハッシュタグなどで、「あなたの好きな新嵐山の一枚」を撮影し投稿してもらい、抽選でプレゼントがもらえるなどの仕掛けを作る。
- ⑩ 行政が困っていることが伝わらないので、赤字になっていたとしても、四苦八苦しているところも含めてすべてさらけ出して発信する。
- ⑪ 芽室町の将来的なビジョンをもとにした新嵐山スカイパークのあり方についての町民との対話の機会を設けると共に、現場事業者を含めた建設的な事業構想を作る場を設ける。

«その他の意見»

- ① 流行を追えば良いのではなく、普遍性のものかどうかに視点を置いた(持続可能かどうか)発信を考える。
- ② 昭和のビジネスモデルではなく、令和としてのあり方を考えなければならない。
- ③ 子育て世帯の親は、実際に行った人の口コミをネットで調べるので、行政がそこまでPRに時間を掛けなくても良いと思う。
- ⑤ SNS、すまいる、新聞のチラシ、広告などに特集を組んで知ってもらう。行政の仕掛けがなかなか町民に伝わっていきなくて行政が勝手に進めているという意見も多いため、色々な世代の方がわかるようにするための工夫が必要。
- ⑥ 新嵐山の変化が激しくてついていけない。変化を町民に対して発信する。受け入れられない人に丁寧に説明する。

3. 付録：アンケート結果

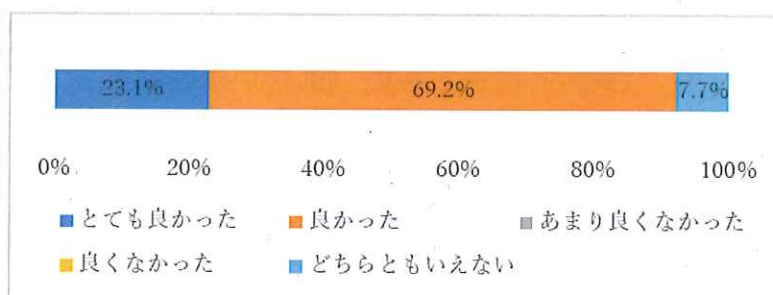
第1回新嵐山スカイパーク自分ごと化会議参加者アンケート結果

令和4年12月18日実施分

回答結果：14人

(1) 第1回新嵐山スカイパーク自分ごと化会議に参加してみたいか。

回答	件数	割合
とても良かった	3	23.1%
良かった	9	69.2%
あまり良くなかった	0	0.0%
良くなかった	0	0.0%
どちらともいえない	1	7.7%
未回答	0	0.0%
合計	13	



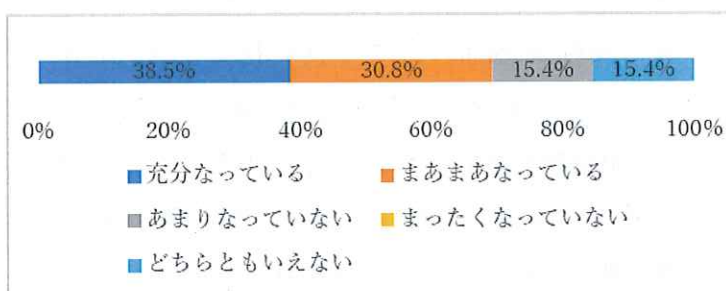
(1) の理由

- 色々なことの話に出ておもしろかった。
- 普段は新嵐山について「言いつばなし」だったが、住んで間もない人や期間の短い人、外からの人、若い人など様々な意見を聞くことができたから。
- 私は観光物産協会の観光部門を担当していますが、この会議は一町民として参加し意見できたことや協会の人間として他の参加者の意見も聞いたことも新鮮でした。
- 無作為抽出手法、会議の進め方、取り組み方についてこんな手法があるのかと参考になりました。
- 無作為の抽選だが、予想に反してみんな積極的に意見を言っており、発言しやすい雰囲気であったと思う。
- 新嵐山の現状を知ることができて良かった。
- 世代、性別、職業、生活環境等が異なる人々からの御意見を聞ける場で、多面的に新嵐山について考えることが出来たことが良かった。
- 初回で丁寧な説明があるのは理解できるが、会議時間（拘束時間）が長く感じた。出来れば短時間（1時間～1時間半以内）で、集中して話し合いたい。

- まだ概要説明の段階ですので、今回の企画が町のためになるのか、住民のためになるのかは判断できません。ただし、参加する以上は町にとってもみなさんにとっても有意義な時間になるよう、できる限りに協力はしていきたいと思っています。
- 活発な意見が全員から出せるようファシリテーターが上手に回してくれた。(最近参加した町主催の研修等の中で最も進行が上手であった。)
- 町民として、血税がかかっているスカイパークの今後を自分の事として認識できた。
- 芽室町が今抱えている課題を認識できた。
- 周辺の見学では役場の方々のこれまでのご努力と現状の問題などを現場の空気感の中で知ることができました。
- 会議では参加者が意欲的に考えを述べられ、町の活発な雰囲気に触れることができました。
- 1回目なので仕方ないが、頂いている資料の読み上げに1時間使っているので話し合いの時間が長い方が楽しかったと思う。
- いろいろな世代の方々の意見が聞けたのは良かった。
- 近隣の市町村の魅力なども参考にし、“あえて来たい”と思える場所へと展開していく必要があるのではないかと思う。
- 意識や立場などバックグラウンドの異なる人が集まったことによる意見は良かった。
- ざっくばらんに話すことができた。

(2) 新嵐山スカイパークは“自分ごと”になっていますか。

回答	件数	割合
充分なっている	5	38.5%
まあまあなっている	4	30.8%
あまりなっていない	2	15.4%
まったくなっていない	0	0.0%
どちらともいえない	2	15.4%
未回答	0	0.0%
合計	13	



(2) の理由

- 冬はスキー、春は福寿草、オオバナノエンレイソウ、秋はちょっとさみしい。
- 自分は思いが強いからだと思います。次回もその思いはぶつけないし、町内で仕事をしていたり知り得た実態なども情報提供したい。でもいろいろな感じ方があることは理解しなければならぬと思っています。

- 小学生の時、スキー学校に通ったり友人たちとスキーを楽しんだ思い出や大人になってからは子どもがスキー学校に通い、検定の前は一緒に練習したりと私にとって新嵐山はHOMEという存在です。こうして役場が新嵐山の今後について悩んでいるという事実がそのまま自分事の悩みと同じであるという認識でいます。
- スカイパーク利用率が少ないため、「自分ごと」という枠で考えると、他参加者に比べると意識が低い自覚はある。ただ、会議では自分の意見も積極的に発言しようと思える雰囲気であるため、「どちらともいえない」という回答。
- 会議が初回という事もあり、他の参加者がどのような意見を持っているか。住んで日が浅いのでまだ把握できていないことがあるからどちらともいえないです。
- 家族でも仕事でも利用しているため。
- 今でも家庭利用では満足しているが、芽室町有数の観光地として、さらにポテンシャルを発揮してほしいと思うため。
- 現時点では、新嵐山スカイパーク活性化の必要性を見いだせていません。なぜこの場所で町興しをしなければならないのか、次回以降の協議で見定めていきたいと思います。
- 近所の施設であり、自分との関係も深い。また、本件を通じこれだけの町民と意見を交換し、交流を持てるという意味でも意義深い。
- 過去に仕事を通じ、各地の観光や地域活性に関わる機会がありました。今回は自分自身が住んでいる地域のことであり、自分ごと化会議のような手法も含めてより関心も深く、当事者意識を持って参加したいと思っています。

(3) 次回以降に向けての要望や今日の感想など、ご自由に記入してください。

- 次回も活発な意見を聞きたい。
- 第2回は所用で欠席しますので、今新嵐山に対して思うところをお話ししますと、私にとっては新嵐山はスキー場です。スキー人口は年々減っていますが何とかスキー場レガシーとして残して欲しいというのが個人的な意見です。そして可能ならば芽室の4小学校の授業でスキー体験として新嵐山に招待（スキー、スノーボード無料貸し出し）して“新嵐山の思い出”を作ってもらって新嵐山を好きになるキッカケを作してほしいなどと思っています。前回の会議でもお話ししましたが、私が今まで新嵐山で食べて一番おいしかったのは、友達と階段で食べたカップラーメンです。
- すべての会議に参加できる見込みではないため、議事があれば共有してほしい。
- 打合せ内容について、事前に資料配布し、意見集約しておくことで会議時間の短縮や、参加できない方の意見も反映できるのではと感じる。

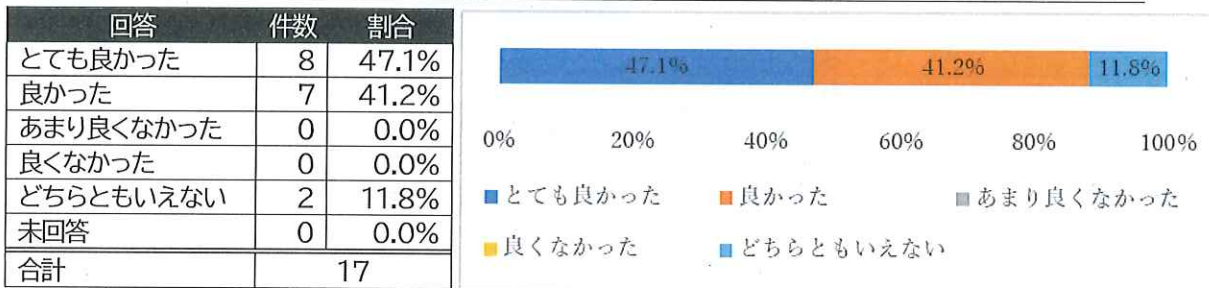
- 1回目の会議は議論の時間足りなく感じた。
- 指定管理者制度を取っていると思いますが、指定管理者側が今後どのような計画を立てているか知りたいです。
- ご準備等大変お疲れ様です。僕のグループでは、町民の方から手厳しいご意見（支配人が変わって地元の雇用が減った等）も出ていましたが、蓋を開けてみると事実と異なっていたり、「悪い噂話」が一人歩きしている印象がありました。
- ご年配の方で昔の新嵐山に親しんだ方ほど、今の新嵐山に対してアンチのような姿勢になってしまっているのかもしれませんが。データで事実を説明するのも大事ですが、もし「町内+町外、全世代向けの新嵐山」を目指しているのであれば、そういった方々に寄り添ったプラン（町民割、シニア割）を作っても良いのでは、と素人ながら感じました。会議の時間は、もう少し短時間だと嬉しいです。
- 新嵐山スカイパークのコンテンツごとの利用データや、収支データを共有していただくと助かります。（過去データも含め）
- 3年前？の新嵐山の改革計画を参考資料として見てみたい。
- グループワークはB班に参加しました。班ごとに議事を変えていたとは知らなかったもので、当初、進行内容に若干の偏りを感じてしまい、うっすら疑問を持ってしまいました。
- 事前に素朴な疑問として持っていた「収支がどうなっているのだろう」といった事柄などはA班で俎上にあがったようなのでスッキリしました。仮に「本腰を入れた観光をやろう」という意見が出た場合、そのメリットが投資を含めたリスクを上回るかどうかを考えるための基準を知りたいと思います。
- グループワークに参加し、多くの方が個人の思い出や体験に基づく良いイメージを有しているであろうことは予想の範疇でしたが、それはそれとして、皆さんが過去にこだわることなく今後を考えることが大事だと捉えている印象を受けました。
- 今後、少し大胆な意見が出てそれを否定する空気にならないような会議であることがいいのでは、と思います。
- それと同時にワンアイデア的なものと、芽室町らしさを深掘りしていく持続的な在り方と、その両方が結実する会議になればいいと思います。（それには時間が足りないかもしれませんが）
- 最終的な提案についても、多数の意見を主とした取りまとめになるのか、多様な意見は多様なまま可能性として提示するのか、アウトプットのかたちとその後の実際の立案がどのようなものになるのか気になっています。

第2回新嵐山スカイパーク自分ごと化会議参加者アンケート結果

令和5年1月9日実施分

回答結果：17人

(1) 第2回新嵐山スカイパーク自分ごと化会議に参加してみたいかがでしたか。



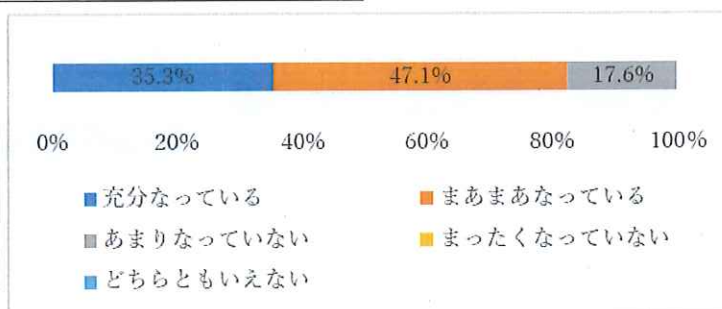
(1) の理由

- 現状の新嵐山の収支内容を参加者で共有できた上で課題や印象、思いなどの意見を出しあえた事は多様な価値観の出しあいとして良かったです。
- 今回は資金や予算の話がメインで、ビジョンやアイデアを出すなど、建設的な未来の話題が少なかったように思います。この内容ならば、委員が町民からランダムに選ばれた意味はあるのかな、と思いました。(経営のわかる人しか話についていけない)
- 参加者が自分の正直な想いを、共有し合っている。
- これまで体験したことのない、話し合いの進め方に非常に興味がある。結果として(最終とりまとめ)どんな内容になっていくのか、とても楽しみ。
- このような機会はなかったのだ。
- ある程度意見が言えた。みなさんの意見が聞けた。
- 微妙な立ち位置でどのような発言をすればよいか悩んだ。
- 町の対応が素晴らしい。期日までに資料を提供し数値を開示してくれた。(年未年始を挟んだのに大変お疲れ様でした。)
- 自分の意見以外が聞くことが出来るいろいろな観点でよかった。
- 様々な視点で意見を聞いて良かった。
- 私のような年齢層の人でも十分話に参加することが出来た。参考になればと思います。
- 尾藤さんの意見が聞けた。

- とても良かったですが、一部、発展的な話とは言いがたい発言もあり、悲しくなった。大好きな芽室町、新嵐山のことをバツサリ切り捨てられると悲しくて言葉をなくす。
- フリートークのように話せる時間を取った方がもっと良い話が引き出せるように思いました。

(2) 新嵐山スカイパークは“自分ごと”になっていますか。

回答	件数	割合
充分なっている	6	35.3%
まあまあなっている	8	47.1%
あまりなっていない	3	17.6%
まったくなっていない	0	0.0%
どちらともいえない	0	0.0%
未回答	0	0.0%
合計	17	



(2) の理由

- 参加者の意見の言葉からの印象として感じます。
- 会議に参加するようになって、たくさんの人と新嵐山の話をするようになりました。自分の中でも新嵐山への見方が変わってきたし、もっと知りたいと思えるようになりました。
- 自分としての新嵐山は遠い存在で、あまり自分ごととは考えにくいですが、将来自分の子どもが多く利用することになると思うので、町の活性化も兼ねて、自分なりの立場で意見できることもあると思うので、今後も参加させてください。
- 新嵐山振興のために自分ができることが少ない。
- よく利用するので。
- スキー場に対しての意見を聞けたので良かったか。
- 正直、かなり利用したくなってきている。
- 改めて思い出して、愛着がわいてきている。
- どうにか良い方向に向けられるよう知恵を絞りたい。
- 発言した事がテーマ等になっていくと少しずつ自分ごとになっている。
- 新嵐山の赤字がどう自分たちに影響しているのかを実感できない。「困る」が共有できていない。←これけっこう大事だと思います。
- もう少し足を運べるようなら良いと思います。それには送迎バスがあると行ってゆっくりのんびり食事をして、高齢者は助かるのではと思う。
- スキー場、宿泊施設利用したいと考えている。
- 今まであって当たり前前の新嵐山について、自分自身じっくり考えることができたから。

(3) 次回以降に向けての要望や今日の感想など、ご自由に記入してください。

- なんだか会議は小難しい数字の話に囚われてしまっているように感じました。実現できるかどうかはさておき、どうしたらもっと新嵐山が"私たちにとって良く"なるのか？予算や収支の内容もざっくりとは把握しつつも、具体的なアイデアやビジョンについて出た意見からどんどん膨らまして行く形が良いのでは？と私は感じました。
- できれば開始時間を早めてもらえると、酪農家にとっては参加しやすいと思います。
- 時間が少し不足。
- 公園、キャンプ場の営業利益の内、公園の維持・管理費を除いたキャンプ場としての利益はどの位なのか？
- 1回目会議の皆さんの発言が上手くリンクさせられていないように思った。いろいろな意見があるので、自分自身しっかり発言しようと思います。

第3回新嵐山スカイパーク自分ごと化会議参加者アンケート結果

令和5年2月5日実施分

回答結果 : 10人

(1) 第3回新嵐山スカイパーク自分ごと化会議に参加してみてもいかがでしたか。

回答	件数	割合
とても良かった	2	20.0%
良かった	7	70.0%
あまり良くなかった	0	0.0%
良くなかった	0	0.0%
どちらともいえない	1	10.0%
未回答	0	0.0%
合計	10	

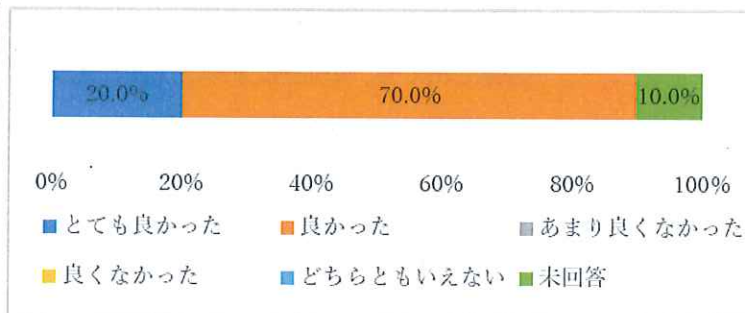


(1) の理由

- 他の地域の成功例を聞いてそうそう！！と、参考に思えることがたくさんありました。
- 言いたいことはたくさんあるが、言い尽くせなかったことがあった。
- たくさん話げできた（でも全部でない）
- 皆さん意見を持っていて感心した。
- 意見も出すことが出来て良かった。
- グループワークでのディスカッションの時間が少なかつたのが残念だった。（次回の参加ができないため…）
- まだまだゴールが見えてみません。
- 皆さんの意見が聞けるのはとても楽しいです。

(2) 本日の自分ごと化会議の中でナビゲーターの参加についていかがでしたか。

回答	件数	割合
とても良かった	2	20.0%
良かった	7	70.0%
あまり良くなかった	0	0.0%
良くなかった	0	0.0%
どちらともいえない	0	0.0%
未回答	1	10.0%
合計	10	



(3) 新嵐山スカイパークは“自分ごと”になっていますか。

回答	件数	割合
充分なっている	2	20.0%
まあまあなっている	5	50.0%
あまりなっていない	0	0.0%
まったくなっていない	0	0.0%
どちらともいえない	0	0.0%
未回答	3	30.0%
合計	10	



(3) の理由

- 1回目と今回参加させていただいたので帰宅後家族も交えて嵐山について考えるきっかけになっています。
- いつも頭に！
- 町内のことだし、近所の事だし子どもと思いの場所になれば良いと思っている。
- まだ、どちらともいえない。会議でも話したようにもう少し町民参加できる新嵐山であって欲しい。

(4) 次回以降に向けての要望や今日の感想など、ご自由に記入してください。

- 次回で最後なので新嵐山の魅力をどう伝えていき変化させていくのか見届けられることが楽しみです。参加者のみなさんもそれぞれに真剣に向き合っていて最後の回で素晴らしい提案ができるのではと思います。
- 今、新嵐山の経営に関わっているスタッフも自分ごと化しよう。
- もう少し町も参加してみてもはどうでしょう。困ってしまって行き詰ってしまって町民に丸投げしているように感じられました。
- 皆さんの意見を聞くのはいつも楽しいです。
- はじめは緊張しましたが、発言しやすい環境で楽しかったです。